

くらし建設委員会会議録要旨

開 会 日	平成 31 年 3 月 8 日（金）午前 9 時 30 分
閉 会 日	平成 31 年 3 月 8 日（金）午前 10 時 08 分
場 所	長久手市役所本庁舎 2 階 委員会室
出席委員	委員 長 ささせ順子 副委員 長 山田けんたろう 委 員 青山直道 じんの和子 田崎あきひさ 吉田ひでき
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件 のため出席した者 の職氏名	市長 吉田一平 くらし文化部長 加藤正純 次長 川本保則 環境課長 富田俊晴 主幹 水野正志 課長補佐兼環境係長 嵯峨寛子 建設部長 角谷俊卓 次長 加藤英之 開発調整監 中垣 智 土木課長 矢野克明 主幹 丸山賢一 維持管理係長 閑谷乙温 区画整理課長 横地賢一 請願者 あいち尾東農業協同組合 市川耕一 松島史典 計 15 人
職務のため 出席した者 の職氏名	議長 川合保生 議会事務局長 福岡隆也 書記 浅井良和
会 議 録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言
議長 あいさつ

請願第 1 号 農協改革に関する意見書の提出を求める請願について

委員長 請願者から趣旨説明の申し出があったので発言を許可する。

請願者 本市は区画整理事業の施行等に伴う都市化の進展による農地の減少と高齢化等による農業者の減少が顕著な地域である。農地は豪雨の際にダム役割を果たすほか、美しい景観を形成するなど多面的な機能をもっており公益的な価値を有している。特に本市では農地が市面積の 10 パーセントを占め、豊かな住環境の一翼を担っている。あいち尾東農業協同組合は、出向く営農指導や作物別グループに対する栽培指導等支援、産直施設やインショップ等による農産物の販路拡大、農地中間管理機構や農地円滑化事業等による農地集積、鳥獣被害対策支援、新規就農者の育成などの取り組みを積極的に実施している。また、信用、共済事業などを通じて市民の生活基盤としても重要な役割を果たしてきた。このような中、国は 2019 年 5 月末まで農協改革集中推進期間に設定し、信用事業の農林中央金庫等への譲渡を促している。また 2021 年 3 月末までに、農協制度や准組合員利用規制の導入について検討を行い、結論を得るものとしている。今後進められる改革の内容によっては、農協の機能発揮が十分に行えなくなり、農業振興や地域振興に支障をきたすことになりかねない。こうした動きに対し当組合は協同の精神に立ち地域農業と暮らしを守るために組合員約 32,000 人とともに自己改革に取り組んでいる。本市における当組合の取り組み、役割をご理解いただき信用事業の譲渡及び准組合員利用規制の導入について、農協の主権者たる組合員の判断に基づき慎重に対応するよう国に対し意見書を提出していただきたく請願するものである。

じんの委員 准組合員の割合はどのようなか。

請願者 正組合員が約 6,600 人、准組合員が約 25,200 人である。

じんの委員 准組合員が増加すると、正組合員に影響あるのか。

請願者 組合員対象にアンケートを実施したが、准組合員が正組合員のサービスを妨害しているという意見はなかった。また、農業は利益が出ない事業であり、准組合員が信用、共済、開発事業を利用することで経営が安定するため准組合員が増えることは好ましい。

じんの委員 政府の改革をそのまま受け入れると農協はどうなるのか。

請願者 農協の収益の大きな割合を占める信用事業の譲渡と、准組合員の利用規制が行われると、個人では運営出来ない農業専用の共同利用施設の資金調達に支障を来すため、地域農業の活性化及び正組合員の所得向上に

は逆行する。

委員長 他にないようなので趣旨説明を終了する。

紹介議員 請願第1号農協改革に関する意見書の提出を求める請願書について
説明

質疑及び意見なし

討論

反対討論なし

賛成討論なし

請願第1号農協改革に関する意見書の提出を求める請願書については、賛成全員にて採択

市長 あいさつ

議案第25号 市道路線の廃止について
土木課長 議案第25号について説明

質疑及び意見なし

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

議案第25号は、賛成全員で原案のとおり可決

議案第26号 市道路線の認定について
土木課長 議案第26号について説明
じんの委員 道路の幅員はどのくらいか。

土木課長 長久手中央25、26号線は4メートル、長久手中央24、28号線は9メートル、長久手中央15、17、18、19号線は8メートル、その他の道路

は6メートルである。

じんの委員 路線の認定は公示されるのか。
土木課長 議決後に公示する。
田崎委員 前熊下田5号線付近で商業施設による渋滞の苦情はきているか。
土木課長 きていない。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

議案第26号は、賛成全員で原案のとおり可決

議案第15号 長久手市卯塚墓園事業基金の設置及び管理に関する条例の制定について

環境課長 議案第15号について説明
じんの委員 墓地の返還に伴う使用料還付は基金から行うのか。
主幹 特別会計に使用料還付金を計上している。
青山委員 卯塚墓園事業の剰余金が含まれている公共施設等整備基金から卯塚墓園事業基金に繰り入れるのか。
主幹 条例制定後に補正予算で繰り入れしていく。
じんの委員 基金に繰り入れできる額はいくらか。
環境課長 公共施設整備基金内にある卯塚墓園事業分の平成29年度決算額は4,035万7,800円である。
田崎委員 基金設置の結果、多くの一般会計予算が基金に借り入れされることにならないか懸念されるが見込みはどうか。
主幹 従来は一般会計を経由するため、いくら税投入したか分かりづらくなっていたが、剰余金を特別会計から直接基金に積み立て出来るようにして、収支を明確にすることが基金設置の目的である。
田崎委員 基金に繰り入れるのは剰余金のみか。
主幹 基本的にはそうである。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

議案第 15 号は、賛成全員で原案のとおり可決

委員長 プラスチックごみの削減に向けた対策を求める意見書案について
お手元に配布した文案のとおり委員会提出議案としてよろしいか。
＜異議なし＞
委員会提出議案とすることに決定。

委員長 エコチャレンジデーに関する提言書案について
お手元に配布した文案のとおり市長へ提出してよろしいか。
＜異議なし＞
提言書を市長へ提出することに決定。

委員長 委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午前 10 時 08 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

平成 31 年 3 月 8 日

くらし建設委員会委員長 ささせ順子